ほりえ　眞報４０号

第４０号　７月　１５日　堀江　眞　発行
雲南市吉田町上山７９－１　℡ 0854・75・0236
e-メール horie.shin@gmail.com
URL　http://www.nanushi.com/blog/
眞さんのつぶやきで検索　ｆｂ　も宜しく

六月補正、旧法務局整備など一億四千二百万円。

六月九日から二十三日まで定例会が開催されました。一般会計補正予算一億４千万円余の他、15議案を可決承認して閉会しました。中で**雲南市指定金融機関**について。これまで山陰合同銀行とＪＡ雲南で２年の相互交代制で行われてきました。

合併から十年が経過し、事務量の増大と複雑化に伴いリスクが増加すること等を踏まえ交代制を廃止。**㈱山陰合同銀行**を改めて指定金融機関に指定しました。十一月から実施されます。

雲南市名誉市民に　陶山吉郎先生

今議会で三刀屋町の陶山吉郎先生を名誉市民に推挙したい旨同意案が提出されました。議会全員一致で同意しました。

陶山先生は平成病院創設者であり雲南市医師会長、県教育委員長など要職を歴任。**「平和を」**の永井隆博士と先輩後輩の間柄。親交があり永井隆平和賞に尽力された。十一月の十周年記念式典で伝達されます。益々健康でご活躍を祈ります。86歳。

吉田町小中学校と三刀屋高校　英語教育強化拠点校に指定

文部科学省がグローバルな人材育成を図ることを目的に実施するモデル事業。全国14地域の一つに採択され今後４年間継続実施される予定です。

予算は約七十万円余。世界に羽ばたく子供たちを育んでいただきたいと思います。

橋銘板被害相次ぐ　市内17橋

市道に架かる山間地の橋が被害にあっています。推定被害額は百５０万円余（６月11日現在）。吉田町民谷の「二十一世紀未来橋」も被害に遭いました。合併前に民谷分校の児童が命名し橋名を書いてくれたものです。心無い仕業は残念です

山間地の橋が狙われています。ボルトを曲げたりして盗難防止策が行われています。

吉田町の見所吉田公園

吉田公園　山つつじの名所。この公園の中心に内藤伸先生の代表作「**子安観音像**」が安置されている。

昭和三年・四年に掛けて建設された自然公園です。昭和天皇のご大典記念事業として吉田村に公園を作ろうという機運が生まれ、設計を吉田村出身、彫刻界の巨匠・内藤伸先生に依頼することになる。多忙な先生の帰郷に合わせ工事に着手。田部家と村民挙げて作業に協力して完成した。当時の村予算、二万五千円の時代に一万円を要したと云われる。「**公園は単なる遊び場ではなく、ここに来る人の心を蘇らせる心遣いが必要**」。土地の春夏秋冬の自然美、人情風俗まで理解して設計工事に当たり、「**山川草木の恩を知らねばならぬ**」と先生自ら連日現場で陣頭指揮にあたられたと云う。町内・吉田川が一望できる位置に「聴流閣」、友と盃を酌み交わす「愛郷庵」、頂上には「峯の平」などと名付けられている。調査によれば草木も珍しい品種が在るといわれ自然観察にも適す。

公園の中央に安置された「**子安観音像**」は巨匠・内藤伸先生の代表作。昭和26年、田部家と村民の浄財五十万円を以って設計を内藤伸先生に依頼。建坪５坪、高さ23尺の六角観音堂が建立された。翌27年５月、大本山・永平寺貫主・熊沢泰禅禅師を大導師に迎え、盛大に開眼供養が営まれた。毎年５月３日は保育園児の稚児行列、ご詠歌の献歌など子安観音祭が盛大に行われる。子宝を望むカップルの他、孫を連れたお礼参りなど多くの参拝者でにぎわう。

島根原発　安対協を設置

３・11福島原発事故を契機として雲南市は予め「**原子力災害対策**」を実施する区域に含まれることになりました。「**中国電力**」に対して「**安全協定締結**」を求めていますが未だ実現していません。

今後、県や松江市と同様原発の周辺環境への影響、安全対策等の説明をするとともに様々な意見をお聴きするため「**原発環境安全対策協議会**」を設置することになりました。市長が会長。議会から３名、各種団体、公募委員３名を含め全35名以内で構成されます。

編集後記　関東地方では時期はずれのヒョウが降ったとか。エルニーニョはどうなるか。平穏な梅雨明けが待たれます。健康第一で過ごしましょう。眞